

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2000-34367 (P2000-34367A)

【公開日】平成 12 年 2 月 2 日 (2000.2.2)

【出願番号】特願 平 11-187784

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 J 3/24 C E Q

C 0 8 L 23/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 16 日 (2006.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 熱可塑性加硫ゴム組成物であって、
 ゴムを約 20 乃至約 85 重量部、及び、半結晶性ポリプロピレン及びランダムプロピレン
 コポリマーを合わせて約 15 乃至約 80 重量部含み、前記重量部は前記ゴム、前記ランダ
 ムプロピレンコポリマー、及び前記ポリプロピレンの 100 重量部に基いており、
 前記ポリプロピレンの前記ランダムプロピレンコポリマーに対する重量比は、約 100：
 2 乃至 100：400 であり、前記ランダムプロピレンコポリマーは、前記ランダムプロ
 ピレンコポリマーの重量に基づき、約 80 乃至約 95 重量%のプロピレンに由来する繰り
 返し単位及び約 5 乃至約 20 重量%の一つ以上の 2 又は 4 乃至 12 の炭素原子を有する他
 の不飽和オレフィンモノマーに由来する繰り返し単位を含み、
 前記ゴムは、エチレンプロピレンジエンゴム、天然ゴム、ブチルゴム、ハロブチルゴム、
 p - アルキルスチレンと 4 乃至 7 の炭素原子を有する少なくとも一つのイソモノオレフィ
 ンとのハロゲン化されたゴムコポリマー、イソブチレンとジビニルベンゼンとのコポリマ
 ー、4 乃至 8 の炭素原子を有する共役ジエンのゴムホモポリマー、又は 4 乃至 8 の炭素原
 子を有する少なくとも一つ以上の共役ジエンに由来する繰り返し単位を少なくとも 50 重
 量%有するゴムコポリマー、又はこれらの組み合わせを含む、組成物。

【請求項 2】 前記ランダムプロピレンコポリマーが、75 J / g 未満の融解熱を有する
 、請求項 1 記載の組成物。